

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和3年12月9日（木）15時00分～17時00分
3. 場所：東京電力ホールディングス株式会社 経営技術戦略研究所
4. 出席者

原子力規制庁

長官官房広報室

羽賀専門職

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

岩永企画調査官、木原室長補佐

東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）

原子力設備管理部

設備技術グループ 担当者2名

経営技術戦略研究所

技術開発部 担当者2名

5. 要旨

- 原子力規制庁において、東京電力によるケーブル及び保温材の予備試験の実施状況を確認した。今回の予備試験では、試料として、高圧動力用ケーブルに使用されているCVケーブルの絶縁体（約6mg）を用いて、窒素環境下で約20℃から約970℃まで20℃/分の割合で加熱し、熱重量測定（TG）を実施していること、その結果は、令和3年12月3日の「東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会（第26回）」で報告された予備試験速報の結果と同様の温度域で熱重量が大きく減少していることを確認した。
- 東京電力からは、当該予備試験に係る手順や機器操作等について説明があるとともに、今後の昇温試験前後の材質評価（フーリエ変換赤外分光法及び走査型電子顕微鏡－エネルギー分散型X線分光分析）の方針などについて説明があった。

6. 資料

- 熱重量測定用機器に係る撮影写真等

以上